

研究会「Python の何がおもしろいのか」

～知識とプログラミングをつなぐことを考える～

2021年3月6日(土曜)午前10時～11時30分

開催方法:オンラインで、Colab 上でいくつかの事例を体験しながら

主催者:青山学院大学名誉教授 井田昌之

参加者予定数:特になし

会費:研究会であり、無料

資料:PDF ファイルで並行配布

内容 全体で一時間半の解説・質疑・実体験

ちょっとした知識素材に自分の直観を試してみたい、そうした軽量のソフトウェアが持つパワーを実感するのに、Python は便利と感じている。プログラムレスのツールだと、ただデータを与えるだけになり手がとどかない感が強い、しかし重装備のプログラミング言語は手ごわすぎる。Python で比較的簡単に扱える話題から、3 つを選んで、10 行程度のプログラミングでできることをデモをしながら、説明する。参加者も、Google ドライブができれば、自分の手元で実行できる方法を紹介する。

次のテーマを1時間程度で紹介し、その後、30分ほどの意見交換・質疑の時間を予定

1. Word Cloud を使って、文書の中の単語出現頻度を図示する
2. Word2Vec を使って、文書中の単語に盛り込まれた意味を考察する
3. ネット上のビッグデータに対して、何が今扱われているのか自分の見方で把握したい

申し込み方法

3月3日午後6時まで、件名に「3月オンライン研究会」、本文に、氏名と返信先メールアドレスを記したメールを、masa@prof-ida.com まで送信 受け付けたら返信先メールアドレスに、アクセス方法等を当日までに連絡します

当日の流れについて

1. 話を聞いてみたい、という方は、配布される資料を元に、進行を見ていってください
2. 手を動かしてフォローしてみたい、という方は、ネット接続のあるPC上で、Gmail アカウントが活きている Chrome ブラウザを準備してください。その中で My Drive から Google Colaboratory を起動します。ソフトの事前インストールなどは不要です。
3. データテキストを自分で用意できるようにしたい、という方は、UTF-8 のファイルを作るテキストエディタを用意してください。TeraPad を井田は Windows 上では使っています。

以上